

2019年度第2四半期決算

JT Group CFO 見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※用語の定義については、スライド17、18に記載しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに表現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

上期実績

為替一定調整後営業利益

- 力強い成長
 - 海外たばこ:数量増とプライシングが牽引し増益
 - 国内たばこ:プライシングとRRP数量増により増益

調整後営業利益

- 為替の不利な影響により減益

営業利益・四半期利益

- 医薬の契約解消に係る一時金収入により増益
 - 不動産売却益の減少、買収に係る償却費の増加
 - 金融費用の増加
- 等の減益要因を上回る

(億円)

	2019上期	対前年
為替一定ベース		
調整後営業利益	3,366	+5.9%
財務報告ベース		
売上収益	10,585	▲1.6%
調整後営業利益	2,878	▲9.4%
営業利益	3,113	+3.0%
四半期利益	2,265	+4.8%

国内たばこ事業（実績）

たばこ総需要は底堅く推移

国内たばこ市場の動向（上期） JT推計



本四半期より国内たばこ事業の実績及び見通しに当社推計のリトルシガー製品の数量を含めており、比較対象の前年同期実績も遡及修正しております。たばこ総需要、RMC総需要、JT RMC販売数量、JT RMCシェア、及びRRP市場占有率がこの影響を受けます。

Ploom TECH+の全国拡販は順調な滑り出し

上期

JT RMCの 카테고리内シェアは61.0% 対前年で微減

- キャメルがダウントレーディングを捕捉するも、低価格帯の競争激化

JT RRP販売数量は対前年で増加
上期における 카테고리内シェアは約8%

- Ploom TECH+は、全国拡販後もパフォーマンス順調
7月の 카테고리内シェア約10%をけん引
- Ploom TECHはシェアモメンタム軟調
- Ploom Sは全国拡販を8月5日にスタート

JTトータルシェアは対前年で減少

Q2

JT RMCの 카테고리内シェアは、Q1から微増

JT RRP販売数量はQ1よりも増加

카테고리内シェアは、Q1と同水準の約8%

JTトータルシェアは、Q1から上昇

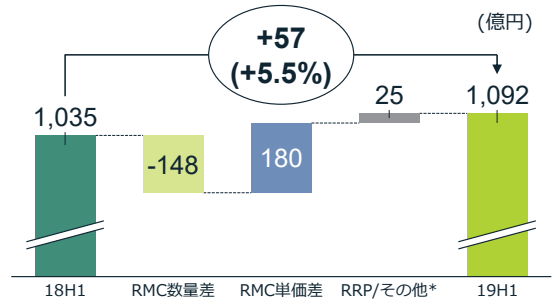
想定通りプライシング効果が発現

- RMCのプライシング効果
 - RRPの販売数量増加により増益
- ✓ 販促費についてはRMCとRRPで最適配分を実施

(億円)

	2019上期	対前年
自社たばこ製品 売上収益	2,823	+3.7%
調整後営業利益	1,092	+5.5%

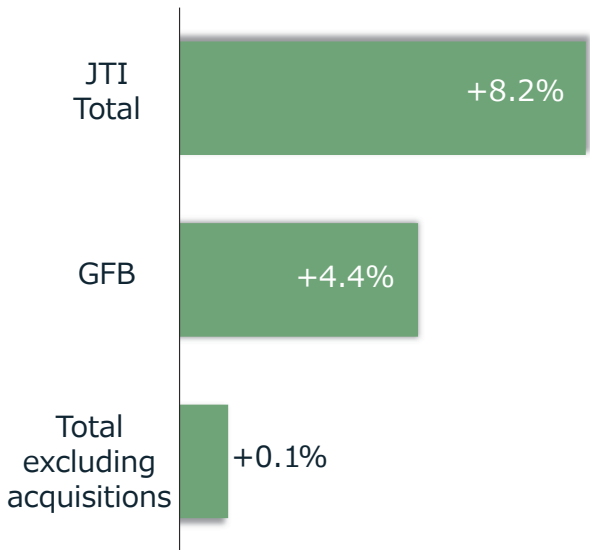
調整後営業利益



*製造コスト、販売費、一般管理費を含む

買収効果に加え、シェア増によりトップライン好調

Shipment volume – 2019上期 vs. PY



© Copyright JT 2019

	SoM	JTI Variance	GFB SoM variance
FRANCE	24.0%	+1.5pp	+1.7pp
GERMANY	8.1%	+0.6pp	+0.9pp
IRAN	57.8%	+3.1pp	+1.0pp
ITALY	24.2%	+0.8pp	+0.3pp
ROMANIA	28.2%	+1.1pp	+0.5pp
RUSSIA	38.7%	+5.4pp	+0.4pp
SPAIN	25.1%	+0.8pp	+0.8pp
TAIWAN	43.9%	+2.3pp	+1.6pp
TURKEY	28.3%	+0.3pp	+0.7pp
UK	42.4%	+1.8pp	0.0pp

Note: SoM, 6月時点における12ヶ月平均シェア（RMC及びFine cut、買収効果を含む）、スペインは5月時点における12ヶ月シェア（JTI 推計）

7

堅調なプライシングで為替一定AOP増加

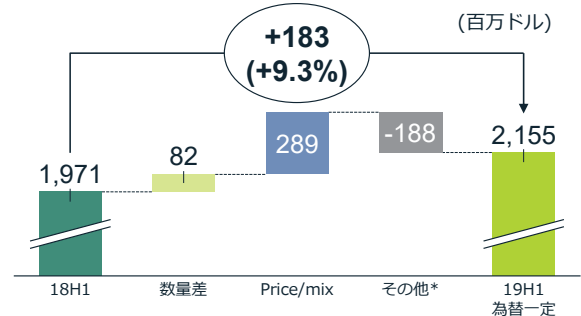
- イラン、英国、カナダ、ドイツ、フィリピン、ロシア等のプライシングが貢献
- 一方で、M&A市場やRRPを中心に事業投資を継続

(百万ドル)

為替一定ベース	2019上期	対前年
自社たばこ製品 売上収益	6,187	+8.5%
調整後営業利益	2,155	+9.3%

調整後営業利益 : Adjusted Operating Profit (AOP)

調整後営業利益（為替一定ベース）



*製造コスト、販売費、一般管理費を含む

8

© Copyright JT 2019

財務報告AOPは為替影響により減益

- 為替影響がビジネスモメンタムを上回る
 - 主要な現地通貨が対ドル安に推移。特にIRR安とRUB安が大きく影響
 - 円安のポジティブ影響が一部相殺

対ドルレートの推移

	18H1	19H1	変化率
USD/EUR	0.83	0.89	6.6%安
USD/GBP	0.73	0.77	6.0%安
USD/IRR	44,974	96,571	53.4%安
USD/RUB	59.34	65.34	9.2%安
USD/TRY	4.08	5.62	27.3%安
USD/JPY	108.67	110.06	1.3%安

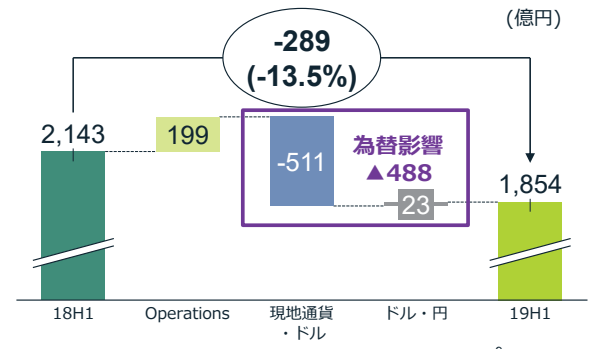
EUR/IRR換算から、表のUSD/IRRを算出

© Copyright JT 2019

(億円)

財務報告ベース	2019上期	対前年
自社たばこ製品 売上収益	6,075	▲2.0%
調整後営業利益	1,854	▲13.5%

調整後営業利益（財務報告ベース）



9

ロシア市場 力強いビジネスモメンタム

紙巻総需要

- 底堅い上期の総需要
- 修正見込：▲6%～▲8%
(当初見込：▲7%～▲9%)

堅調なシェア

- Q2シェア*39.6%
- Q2GFBシェア*25.5% (+0.7pp)
- ✓ Winston
 - ・ 底堅いNo.1ブランド
 - ・ Q2におけるマーケットシェアは16%、Q1と同水準を維持
- ✓ LD
 - ・ 成長するNo.2ブランド
 - ・ Q2におけるマーケットシェアは9%、過去最高を記録

- ポジティブなプライシングモメンタムが継続
 - ✓ 1月以降に増税分をすべて価格に転嫁
- Donskoy社の統合は計画通り進行
 - ✓ 流通の拡大により、Donskoyブランドのマーケットシェアは対前年+0.6pp
- ロシアにおけるリーディングポジションを強化
 - ✓ 競争の激しいCompact製品カテゴリーにおけるNo.1ポジション
 - ✓ 拡大するValueセグメント**におけるNo.1ポジション (Valueセグメントは市場全体の約70%を占める)
- 不法取引対策としてTrack & Trace System導入済み

*Q2における3ヶ月シェア

**Valueセグメント：107RUB/パック以下の商品セグメント

© Copyright JT 2019

10

医薬事業：抗HIV薬のライセンス契約解消等により減益 加工食品事業：価格改定効果等により増益

医薬事業

- 国内での抗HIV薬ライセンス契約解消の影響等により、売上収益・調整後営業利益ともに減少

	(億円)	
	2019上期	対前年
売上収益	418	▲114
調整後営業利益	57	▲57

加工食品事業

- 売上収益は、ステープル商品及び調味料の販売が伸長したものの、その他商品の販売減少により減収
- 調整後営業利益は、価格改定効果、商品構成の改善等により増益

	(億円)	
	2019上期	対前年
売上収益	754	▲16
調整後営業利益	16	+2

全社（見込）

全社為替一定AOP見込に変更なし

- 全社為替一定AOPは、国内たばこ事業を下方修正するも、海外たばこ事業・医薬事業の上方修正を主因に、変更なし
- 当期利益は、為替のネガティブ影響の拡大を織り込み、下方修正

	(億円)		
	2019年 修正見込	対前回 見込増減	対前年
為替一定ベース			
調整後営業利益	6,100	-	+2.4%
財務報告ベース			
売上収益	21,700	▲300	▲2.1%
調整後営業利益	5,230	▲230	▲12.2%
営業利益	5,180	▲220	▲8.3%
当期利益	3,600	▲100	▲6.7%

国内たばこ事業

自社たばこ売上収益・調整後営業利益を下方修正
- JT RRP販売数量前提の見直しが主因

海外たばこ事業

為替一定自社たばこ売上収益・調整後営業利益を上方修正
財務報告ベースの調整後営業利益は下方修正

医薬事業

売上収益・調整後営業利益を上方修正

RRPトップラインの見直しに伴い下方修正

● 環境変化と上期実績により、前提条件と通期見込を下記のとおり変更

前提条件

- JT RRP販売数量：50億本⇒40億本
 - Ploom TECH販売数量前提引き下げ
- JT RMC販売数量：7%台後半の減少
 - ⇒約8%の減少
 - RRP市場の拡大、低価格帯での競争激化

日本市場の前提の変更点（JT推計）

- たばこ総需要：約▲5%⇒約▲4%
- RMC総需要：▲7%台前半⇒▲6%台後半
- RRP市場占有率：22%~23%⇒約23%

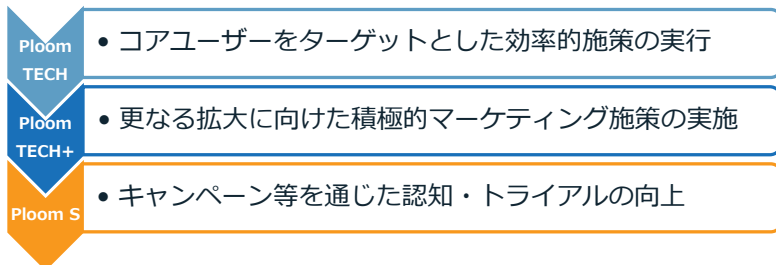
修正見込

100億円強のコスト削減に努めるも、トップライン影響をオフセットできず

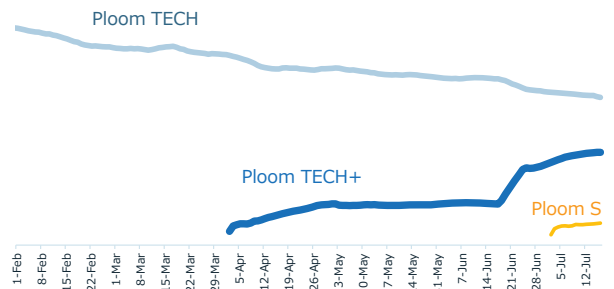
- 自社たばこ売上収益：6,200億円⇒5,800億円
- 調整後営業利益：2,150億円⇒2,000億円
 - コストポジ要因
 - ✓ RMC、RRP双方における販促費や一般管理費の最適化
 - コストネガ要因
 - ✓ RRP販売数量前提の下方修正に伴う単位当たり加工費の増加
 - RRPデバイス・アクセサリ収益減
 - 国内免税販売の弱含み

今後に向けて

- 2019年下期は、引き続きRMCとRRPでの販促費最適化に加え、RRP内でも再配分を実施
 - Ploom TECH+にマーケティング投資を優先配分



全国における各商品のカテゴリ内シェア



JT推計：実需ベース、7日移動平均シェア

- 中長期における利益成長への回帰に向けて
 - トップライン成長に向けた施策の見直しとトップラインに応じた適切なコスト管理/執行のあり方を検討

好調な実績を反映し、為替一定AOPを上方修正 財務報告AOPは為替影響により下方修正

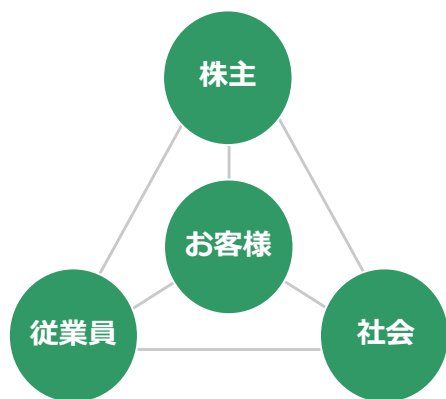
前提条件

- トータル販売数量：3%台半ば⇒約5%の増加
- GFB販売数量：約1%⇒3%台半ばの増加

修正見込

- 為替一定売上収益：11,950百万ドル⇒12,250百万ドル
 - 堅調な上期モメンタムを反映
 - 上期に実施した追加的なプライシング
- 為替一定AOP：3,800百万ドル⇒3,850百万ドル
 - トップライン成長の一部を中長期の利益成長に向けて再投資
- 財務報告AOP：3,560億円⇒3,380億円
 - IRR・TRY・EUR等の現地通貨安の進行
 - 円高の進行

Closing remarks



- 上期は国内/海外たばこ事業におけるプライシング効果により、堅調な実績
- 2019年について：
 - 為替一定AOPに変更無し。国内たばこ事業の下方修正があるも、海外たばこ事業と医薬事業の上方修正により相殺
 - 年間配当は予定通り一株当たり154円
 - ✓ 中間配当は77円
- JT Groupの中長期について：
 - 引き続き、為替一定AOPのMid to high single-digit成長を目指す
 - ✓ 国内たばこ・海外たばこトータルでの利益成長に自信
 - ✓ RMCは事業の強固な基盤
 - ✓ RRPは将来の成長の柱
 - 配当金の安定的・継続的成長を目指す方針に変更無し

<用語の定義>

調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定 調整後営業利益：	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
四半期利益・当期利益：	親会社の所有者に帰属する四半期利益・当期利益
Reduced-Risk Products： (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB： (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランド
総販売数量： (海外たばこ事業)	水たばこ/Reduced-Risk Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretekを含む
自社たばこ製品売上収益： (海外たばこ事業)	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Reduced-Risk Productsの売上込み
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益： (海外たばこ事業)	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標

<用語の定義>

たばこ総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計） RRPやリトルシガーを含む
RMC (国内たばこ事業)	Ready made cigarettesの略
RMC総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体における紙巻たばこの本数ベースの市場規模（自社推計） リトルシガーを含み、RRPを含まない
RMC販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売中国事業の販売分を除く、JT紙巻たばこの販売本数 リトルシガーを含み、RRP等を含まない
RRP販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売分を除く、JTのRRPの販売本数（1パック当たり紙巻たばこ20本として換算） デバイス/関連アクセサリ等は含まない
リトルシガー： (国内たばこ事業)	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、紙巻たばこと同様の形態に巻き上げた製品。 たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される
自社たばこ製品売上収益： (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Reduced-Risk Products関連の売上を含む
RRP関連売上収益： (国内たばこ事業)	国内たばこ事業における自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Productsの売上